

(様式4)

情報公開文書

課題名 : 肝疾患に対する多職種チームでの取り組み

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～2028年3月31日

研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2019年11月～2027年9月に肝臓に関する病気で当院を受診された患者さん

2. 研究目的・方法

肝疾患はウイルス肝炎・肝硬変・肝細胞癌のみならず薬物性肝障害や2023年の「日本肝臓学会奈良宣言」からもNAFLD(非アルコール性脂肪性肝疾患)・NASH(非アルコール性脂肪肝炎)といった脂肪肝が増加し病態も多岐にわたっています。このために2019年より院内で肝疾患サポートチームを立ち上げ肝臓の病気に関わる諸問題に多職種チームとして対応し、対策を立てております。

具体的な活動内容としては、

- ① 全科においてB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスの陽性患者さんの全例拾い上げを行い、未受診の患者さんへ専門医への受診を推奨する。
- ② B型肝炎ウイルスが免疫抑制剤の治療あるいは抗がん剤の治療を行う際に重症肝炎を引き起こすことがあり、日本肝臓学会の指針に沿って薬剤師が肝臓専門医と連携し、発症を予防するプログラムを作成し対策をとる
- ③ 脂肪肝をはじめ慢性肝疾患対策として管理栄養科と臨床科で栄養指導および日本肝臓学会の指針に基づきサルコペニア(肝疾患に伴いおこる筋肉量の低下、および筋力低下や身体的機能低下といった筋肉の質の低下を伴うこと)対策を行い慢性肝疾患の評価・悪化予防・リハビリの対策を行う。

といったことを行っています。今回、上記対策の現状および効果について患者さんの診療録に記載されているデータ等を集計しチーム内または各職種の視点から評価を行うことで、今後の診療に役立てたいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報: 病歴、治療歴、血液検査データ、ウイルス検査の結果、副作用等の発生状況等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけ

2024年1月31日作成

(様式4)

ない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 肝臓内科 影山富士人(研究責任者)

住所:静岡県浜松市中央区富塚町 328

電話:053-453-7111(病院代表)